

国際交流基金助成事業報告書

薬学部 3年次生 浅野悠

1. はじめに

この度、本学の国際交流基金の支援を受け、2023年3月6日から3月16日の11日間、薬学語学研修として、オーストラリアのニューサウスウェールズ州にあるキングスクリフを訪問したことを報告させていただきます。

私は、今回の薬学語学研修において、オーストラリアと日本の薬局の違いやオーストラリアの文化を学ぶとともに、自分自身の英語力の向上、積極的に発言できるようになることを目標に、この研修に取り組みました。

2. 授業

私たちは、TAFE という州立高等職業訓練校で、英語やオーストラリアの薬局、オーストラリアの文化などについて学びました。TAFE では、ビジネスやアート、IT などのさまざまなコースが開講されており、自分の学びたいことを選択して学ぶことができる場所です。



・English class

午前中は English class がありました。English class は 2 つのクラスに分かれて行われ、私は、Liz 先生という女性の先生のクラスに入りました。そこで私は、日常的に使えるフレーズ、ビーチに立っている旗や標識の意味などオーストラリアの海、アボリジニについて学びました。ゲームを行いながらそれらの知識を学んだので、とても楽しく記憶に残る授業を受けることができました。また、休憩時にはオーストラリアで親しまれているベジマイトやお菓子を食べました。私は人前で発言することが苦手なのですが、この研修中は積極的に発言しようと心がけ、それを行うことができたので自分の成長を感じることができました。



•Pharmacy class

TAFE で行われた Pharmacy class では、オーストラリアと日本の薬局の違いやオーストラリアの薬剤師の実際の業務について学びました。オーストラリアの薬局は日本のドラッグストアに似ていると先生の話聞きながら感じました。そして、実際に現地の薬局で売られている口内をスッキリさせるタブレットや水に溶かすとスポーツドリンクのようなものになるタブレットを実際に食べさせてもらったり、ハンドクリーム、ストッキングなどを触ったり、とても面白い体験をさせていただきました。



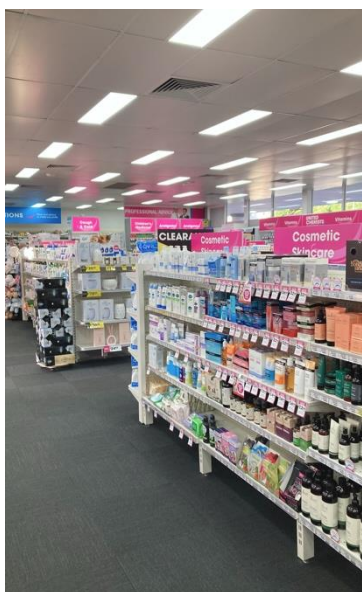
•その他

Griffith 大学を訪問した時は、実際に授業で使われている教室や実験機器などを見学し、最新の技術を見せていただくことができました。また、アボリジニの文化を学ぶ機会もあり、外に出てビーチや森の中を歩きながら植物の使い道やアボリジニの言葉を教えてもらう貴重な体験をさせていただきました。



3. 放課後

平日は、毎日学校で授業を受けていたので観光をする時間はなかなか取れませんでした。そのため、オーストラリアの風景や日常生活を実際に見ることができたのは学校が終わったあとの少しの時間でした。ある日、ホストマザーが仕事の後にドライブに行こうと誘ってくれて、ビーチやスーパーに連れて行ってくれました。また、別な日には、同じホームステイ先だった先輩と一緒に家の近くにあるスーパーやマクドナルドに行きました。今回の薬学語学研修は日数が短く薬局に連れて行ってもらえる機会がなかったのですが、この放課後の時間に実際に現地の薬局の雰囲気を感じてみたかったので薬局を見に行くことができてよかったです。



4. ホストファミリー

私が今回ホームステイさせていただいたのは、お母さんと娘さん、犬が3匹と猫が1匹の家庭でした。私は、今回の研修が初めてのホームステイでホストファミリーに会うまでは、自分の英語が通じるのか、どのような人たちだろうかなどとても緊張していました。しかし、お会いしてみると、とても気さくに話しかけてくださって、私が会話を聞き取れなかったときに言い直してくれたり、困ったことがあるとすぐに助けてくれました。また、なかなか日本では食べることのできないものを食べさせようと、ミートパイなどを作ってくれました。ホストシスターは、とても料理上手な人で、直接会話することは少なかったのですが、学校で宿題が出た時には一緒に考えながら教えてくれました。ホストマザーは、毎日、ご自分の仕事の前に私たちを学校まで車で送ってくれました。夜にホストマザーのおすすめの映画を教えてください、それを一緒に見ながら、私は、日本の文化を説明したり、オーストラリアの文化について質問したりしました。毎日夜と一緒に映画を見た時間は私にとってかけがえの

ない思い出となりました。



5. 休日

休日は残念ながら、ホストマザーが仕事だったので一緒に過ごすことはできませんでした。そのため、一緒に研修に参加していた友人と休日を過ごしました。土曜日は、友人のホストマザーと一緒にゴールドコーストに行き、お土産屋さんを回ったり、大きいショッピングセンターに連れて行ってもらいショッピングを楽しみました。日曜日には、有名な動物園に行きました。オーストラリアに生息する動物をたくさんみることができ、動物園内にある動物病院で手術の見学をすることができました。また、日本ではできないようなコアラを抱っこしたり、カンガルーに餌やりをすることができてとても嬉しかったです。そして、日本に帰る日も、お昼まで時間があつたので、また、ショッピングセンターに連れて行ってもらい、最後まで楽しい思い出を作ることができました。



6. 最後に

私は、高校生の時にも高校の研修でオーストラリアを訪れたことがあります。その時は、ずっとホテルで過ごしたと覚えています。しかし、今回、本学の海外語学研修で初めてホームステイを体験することで、たくさん英語を話すことができました。私は、今回の研修に参加する前から、毎日ホストファミリーに自分から積極的に話しかけること、English classなどでその日に習ったことを使った会話をすること、出来るだけリビングで過ごすなどしてホストファミリーと交流する時間をたくさん作ることの3点を意識して過ごそうと思っており、それらを実際に行うことができ、より有意義な研修にすることができたと思います。また、最後の夜、ホストマザーに、私が出来るだけリビングで過ごし交流する時間を作ろうとしていたことを褒めてもらい、「そのおかげで良い時間を過ごすことができた」と、「またホームステイしに会いに来て」との言葉をもらった時はとても嬉しく、絶対にまたホストファミリーに会いに行こうと思いました。今回の薬学語学研修で、英語はもちろん、オーストラリアの文化を学ぶことができました。私は、この研修のおかげで、より英語を学びたいと思うようになりました。また、研修を通じて学んだことや感じたことを忘れずに、これから何事にも積極的に取り組んでいきたいです。